



新板  
絵入

新編  
山陰道  
草木  
心  
五之巻

特 別  
^13  
4338  
5



へ13  
4338  
5

英情考述

ふと巻

目録

才一 硯 我 野の 志ハ 媒 酌の 計



養膏ヤスの口とハぬと云々ウツの事コト

江戸エドの事コトの事コトの事コトの事コト

下目代シモメの事コトの事コトの事コト

才二 雄徳山の峰に暮るる後の恨

ふるふる藤の花を白き妻の影をばはるる

まどかたぬえたよふにさかきさかきとる夜  
のうらむさきいほにうらむの法師

才三 清見寺に流るる孝心の飯

とまらへんさうじの飯がうづまう昔の書  
戸のまはしういもの思ふにせむらふめ納会  
をて押してまよひまよひの歌うららなるは万葉

第一 暖野の恋は媒酌の計

媒計とくくするものと。和書にては仲人とり申人下  
あけい婦人いふ事とくしあつる。和書にも小内計とく  
測りて喜向うと申すあつる仲人といふ事とく。是とく  
とくその事かきまつて結婚の程あり。是とくその事とく  
をうてははははは。やうまき。人ゆゑいふ。とくあり。  
とくまき。いまもあつるやうく。の利切なるは。あり  
とくして。看板らつて仲人とりそのあり。又醫者の計とく  
寺の傍ら。あつて出入の相うら。あつる。いふ。あつる。あつる。  
の書か書。あつてく。あつる。いふ。あつる。あつる。あつる。  
あつる。あつる。あつる。あつる。あつる。あつる。あつる。あつる。

山樂歌

















ありしころとていふれは、（？）は、（？）の御  
とていふは、（？）の御時、（？）の御  
ことらりて、（？）の御時、（？）の御  
とていふは、（？）の御時、（？）の御  
は、（？）の御時、（？）の御  
ふ、（？）の御時、（？）の御  
ふ、（？）の御時、（？）の御  
めりの女とていふ

あ、三、（？）のま、は、（？）の御

後漢の明帝の時、（？）の御  
佛堂とていふは、（？）の御  
あ、（？）の御時、（？）の御

ありしころとていふれは、（？）の御  
とていふは、（？）の御時、（？）の御  
ことらりて、（？）の御時、（？）の御  
とていふは、（？）の御時、（？）の御  
は、（？）の御時、（？）の御  
ふ、（？）の御時、（？）の御  
ふ、（？）の御時、（？）の御  
めりの女とていふ



讀本目錄

今川一睡記 <small>いまがわ いちすいき</small>	名所焼蛤 <small>なごころ やかひ</small>	風流宇治頼政 <small>ふうりゅう うぢのりまさ</small>	於國奇舞妓 <small>おくに きぶし</small>	風流東大全 <small>ふうりゅう とうぜん</small>	真州軍記 <small>まづ ぐんき</small>	傾性林茶短氣 <small>けいせい りんぢあたんき</small>	傾性曲三味線 <small>けいせい まげさんまいせん</small>	浮世親仁歌氣 <small>うきよ しのじんかき</small>
風流軍配園 <small>ふうりゅう ぐんぱいゑん</small>	傾性色三味線 <small>けいせい いろさんまいせん</small>	風流西海現 <small>ふうりゅう せいかいげん</small>	清明白狐王 <small>しみずくしろう</small>	當流曾我高松 <small>たうりゅう ぞうがたかたか</small>	日本傾性始 <small>にっぽん けいせいのはじめ</small>	當世信玄記 <small>たうせい しんげんき</small>	百姓盛衰記 <small>ひやくしやう せいさいき</small>	商人世帯茶 <small>あきんど せたいぢ</small>
義経風流鏡 <small>よりにやま ふうりゅうきよう</small>	傾性電照君 <small>けいせい でんしょうきみ</small>	役者色仕組 <small>やくしや いろしぐみ</small>	兼好一代記 <small>かねよすけ いちだいき</small>	信濃の國最勝波 <small>しんののくに さいかつなみ</small>	忠孝善門松 <small>ちゆうかう ぜんもんすけ</small>	丹波信玄同鏡 <small>たんぱ しんげんどうきよう</small>	武松双級巴 <small>ぶしょう そうきゅう</small>	忠盛祇園橋 <small>ちゆうせい ぎゑんばし</small>

今川一睡記 五  
 風流軍配園 五  
 義経風流鏡 五  
 傾性色三味線 五  
 傾性電照君 五  
 役者色仕組 五  
 兼好一代記 五  
 信濃の國最勝波 五  
 忠孝善門松 五  
 丹波信玄同鏡 五  
 武松双級巴 五  
 忠盛祇園橋 五  
 商人世帯茶 五  
 百姓盛衰記 五  
 當世信玄記 五  
 日本傾性始 五  
 當流曾我高松 五  
 清明白狐王 五  
 風流西海現 五  
 風流宇治頼政 五  
 於國奇舞妓 五  
 風流東大全 五  
 真州軍記 五  
 傾性林茶短氣 五  
 傾性曲三味線 五  
 浮世親仁歌氣 五

實曆九年卯正月吉日  
 意對各町世世のぐりんドノ研ハノ字屋ハニ事ハ板

五之巻終

野白内證鏡	女曾我兄弟鏡	於都係系圖
野傾色孖	女將門七人化粧	群射壺
軍儀回祓野楊	女男伴野風流	敦也源平枕
三浦大助家分寄	老教者色好	大内妻大友寄
出世權虎者語	前堂二面鏡	彩色歌相撲
本朝會誓山	女非人綴錦	盛久側柏葉
名玉女舞落	記錄曾我	十示町曠堂衣
楠二代仕士	真盛曲輪錦	若女化粧櫻
津伽平家	鎌倉諸齋袖日記	義貞龜軍配

風流扇軍	雷神不動櫻	花楓釵本地
北條時賴女櫻	薄雪音羽滝	小野皇太后釣舟
分里龜幼脚	風流日本花子	賴信玩軍記
傾性奇味線	契情太平記	道成寺波柙
傾性友味線	大系圖蝦夷噺	優源平歌袋
風流畧雛形	弓張日曙櫻	夕霧右馬松
風流連理積	鎌倉繁榮廣記	百合推錦寫
長卷牙打解	阿漕浦二巴	壇浦女見臺
曠太平記	今昔出世解	歲德五松



